

# 2010' 合格体験記

首都大(建築) 理科大(理)現役合格 須藤拓馬 (中丸小→開智中→開智高)

僕が東大ゼミに約4年間通い続けて証明された事の第一は「継続は力なり」という事です。

僕はこの四年間、週6回、受験期には毎日ほとんど休まずに通い続けました。

初めは苦痛でしたが、段々とそして確実に実力がついてきて、やはり継続して続けることが力を一番の方法だと実感しました。第二は「学校の勉強だけで満足してはいけない」ということです。僕の通っていた学校は一応県内では名の知られた学校ですが、それでも学校の授業だけでは難関大学受験は間に合いません。東大ゼミは、早いうちに自分の志望校の対策に取り組むため、早い段階で準備ができ、その志望校相応の実力がつきます。

しかし、それも休まず怠らず努力しなければ効果はありません。

そして、東大ゼミ一番の武器はなんといっても英語です。

中学生の内から五文型(S,V,O,C,M)の分析を教える事で英語の根本的な事から理解できます。

ちなみに文型は学校では高1の一学期の初めのわずかな期間しかやりません。

英語を根本的に理解することによって、英語が楽しくなり、自分の得意科目となるはずです。

僕も東大ゼミの英語にはかなり救われました。

また、東大ゼミのすごいところはなんといっても反復練習です。

僕は高2の終わり頃に国公立大学に行こうと決めました。

しかし、国語が苦手でセンターの問題が全然出来ませんでした。

だが、東大ゼミでセンターの過去問を本試験と追試験を合わせて約40年分をひたすら演習し

最後には苦手だった国語が9割とれる程の実力になりました。

そして、無事国公立大学に合格出来ました。

国語の成長は自分でも驚きですが、40年分の本試と追試をしっかり演習、復習してきた事を思

決して奇跡なんかではないと思います。最後に僕は東大ゼミに出会って人生が変わりました。

成績が落ちぶれていた中3の僕をこれ程まで変えてくれた東大ゼミ、そして塩田先生には、

感謝してもしきれません。もし中学生の頃にこの塾に通っていなかったらと思うと恐ろしいです。

僕は難関大学に合格するための一番の近道は東大ゼミで勉強することだと思います。

僕は「東大ゼミは日本一の塾だ！」と誇りを持って断言できます。